

先生各位

ミアテスト 乳がんリスク検査報告書改訂のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、ミアテスト 乳がんリスク検査におきまして、測定委託先より報告書の仕様へ一部変更が実施される旨の連絡がありましたので、ご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■実施日

2019年 4月 1日（月）ご依頼分より

報告書の主な変更点：

以下2点の報告形式、表記を変更させていただきます。詳細は別紙をご参照下さい。

① 報告書デザインの変更

解析元のミルテル社で発行をしている報告書の仕様とさせていただくことになりました。

② 総合判定結果の変更

判定結果に関しまして、下記のように変更させていただきます。

●リスク評価の変更

従来はA～Eの5段階評価でリスク判定を行っていましたが、解析元のミルテル社にて評価方法の見直しが行われたため、A～Dの4段階評価でリスク判定を行います。

※旧来のC判定の中央値が、B・C判定の境界値となります。棒グラフの中央にスレッシュホールドの点線を記載しておりますので、こちらを基準にリスクをご判断いただく仕様となっております。

●評価グラフの追加

従来の報告書では解析後の数値を定点的に表示しておりましたが、新様式では棒グラフでの表示に変更となり、評価位置を可視化できる仕様となりました。

尚、解説資料部分につきましては、新版のご報告書の裏面に記載をさせていただきます。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。

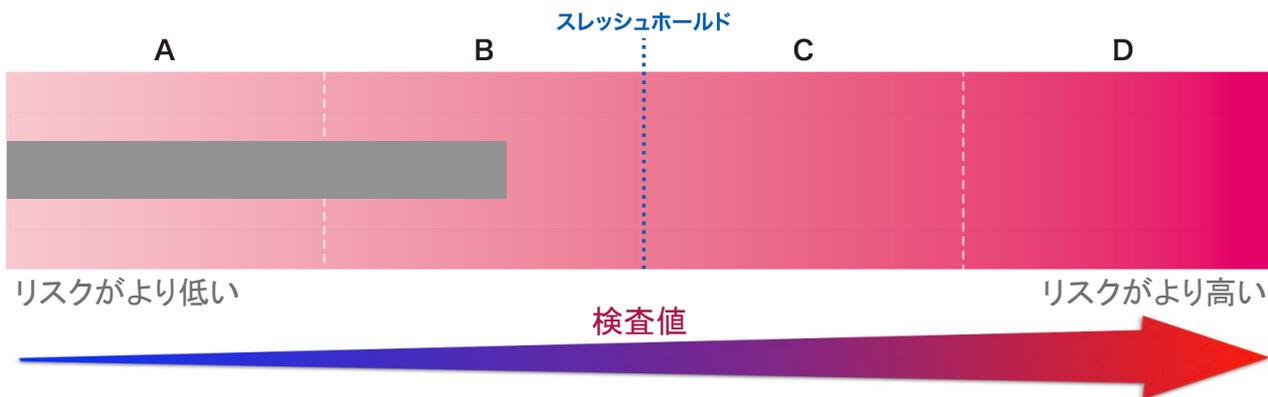
ミルテル検査報告書

氏名 ミルテル 花子 ミルテル会員 ID 101300565
性別 年齢 女 48 医療機関名 ミルテル
カルテNo. 診療科/病棟
材料 提出医
ミルテル検査ID 1800217 受付日 2018/03/23
依頼元検査センターID ミルテル受領日 2018/03/23
検査責任者 報告日

ミアテスト[®]検査結果

ミアテスト[®]はマイクロRNAを測定する検査です。
血液中のマイクロRNAは約3,000種類ほどあり、病気になると特有のマイクロRNAが変動します。

乳がん



この検査は、疾患の診断をするものではありません。
検査結果に基づいて、担当医師より適切な指導を受けてください。
この結果によるご自身のみの判断はしないようお願いいたします。
ご不明な点があれば、まずは担当医師にご相談ください。

検査履歴 ※検査時においての結果なので、継続的に検査することをお勧めします。

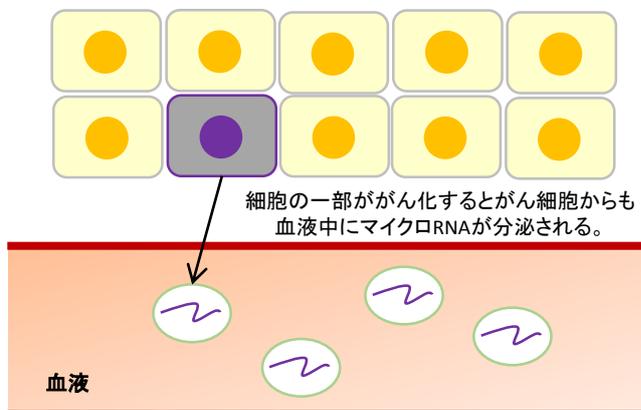
受付日	ミルテル検査ID	年齢	乳がん			
			A	B	C	D
2018/03/23	1800217	48				

ミアテスト®乳がんリスク検査について

ミアテスト®乳がんリスク検査では血液中に存在するマイクロRNA(アールエヌエー)という物質を測定しております。マイクロRNAとは遺伝子の調整役として機能する物質で、細胞の発生や増殖などに関わっているといわれております。がん細胞からもマイクロRNAが分泌されており、がんの増殖や転移に関係していることが最近の研究で明らかになってきています。また、がんの種類によっても分泌されるマイクロRNAは様々な種類があることも分かってきております。

本検査では、数千種存在するマイクロRNAの中から、乳がん患者で特異的に増減するマイクロRNAを数種類まで絞り込み検査をしております。

検査の判定では、これまで健常人でしか見られていない発現量の領域をA判定、これまでに乳がん患者でしか見られていない発現量の領域をD判定としております。



ミアテスト®乳がんリスク検査を受診された後に…

低リスク

A判定

B判定

リスクは比較的低い状態です。引き続き、定期的にミアテスト®乳がんリスク検査を受診し疾患リスクを確認してください。

中リスク以上

C判定

D判定

リスクは比較的高い状態です。必要に応じて、専門家の受診や精密検査の実施をお勧めします。

エコー検査

乳腺用の超音波診断装置を用いて、乳房内部に出来たしこりについて良性、悪性を調べる検査です。

マンモグラフィ検査

X線を使用し、腫瘍の有無、大きさや形、石灰化の有無を調べる検査です。

乳腺MRI

MRI検査に造影剤を利用して乳がんの探索を行う検査です。